

デザインミーティング



「土を」題材に、版築壁で家をつくる

版築は、世界中で広く行われてきた伝統的な壁工法で、日本においても古くは、法隆寺の築地塀に見られ、その基礎も版築によって強化されているようです。湿った土を型枠の中に注ぎ込み、突き棒で何層にも突き固めて分厚い壁を構築します。施工効率が悪く人手がかかるため、手間が即コスト増となる先進国では近年ほとんど見られなくなりました。

しかし、近年では調湿機能や熱容量といった土の物性が着目され、またコンクリートに比べ環境負荷も少ないことから、新しい建築構法として再び脚光を浴びています。特別な技術を必要とせず、材料も身近にあるため、どこでも誰でも施工できる点がメリットです。

学生の頃、ティーチングアシスタントとして取り組んだ、版築壁による小屋制作の体験ワークショップを踏まえ、土の魅力と現代の建築への利用について、ご紹介いたします。

第9回 デザイン ミーティング

日時 : 2015年4月13日(月) 19:00~

講師 : 中野 真成 さま
(象地域設計 勤務)

参加費 : 500円

会場 : 渋谷区文化総合センター大和田



主催 : 新建築家技術者集団 東京支部

連絡 : 樋口 080・6712・5141

新建築家技術者集団
NEW UNION OF ARCHITECTS AND ENGINEERS